

II 調査結果の概要

1 人口の動向

(1) 総人口

本県の人口は、平成22年中に4,541人減少し、平成23年1月1日現在で2,968,570人となった。人口増減率は△0.15%となっている。

人口増減の内訳は、自然動態で4,325人の減少（増減率△0.15%）、社会動態で216人の減少（同△0.01%）である。

男女別人口の内訳を見ると、男が2,256人の減少（増減率△0.15%）、女が2,285人の減少（同△0.15%）であり、この結果、平成23年1月1日現在で男1,479,028人、女1,489,542人となっている。（統計表第4表）

(2) 性比及び人口密度

平成22年10月1日現在の性比は99.3であり、前年同月を0.2ポイント上回った。

また、平成22年10月1日現在の人口密度は487.2人/k㎡であり、前年同月を0.4ポイント上回った。（統計表第1表）

(3) 地域別人口

市部及び郡部別に見た平成22年中の人口増減は、市部が2,739人の減少（増減率△0.10%）、郡部が1,802人の減少（同△0.64%）であった。この結果、平成23年1月1日現在の人口は市部が2,686,053人、郡部が282,517人となっており、県人口に占める割合は市部が90.5%、郡部が9.5%となっている。

次に、県内5地域別の人口増減を見ると、県北地域が3,085人の減少（増減率△0.48%）、県央地域が637人の減少（同△0.13%）、鹿行地域が413人の減少（同△0.15%）、県南地域が3,575人の増加（同0.36%）、県西地域が3,981人の減少（同△0.69%）であった。この結果、各地域の県人口に占める割合は平成23年1月1日現在で県北地域が21.6%（640,660人）、県央地域が16.0%（474,785人）、鹿行地域が9.4%（279,004人）、県南地域が33.7%（1,000,605人）、県西地域が19.3%（573,516人）となっている。（統計表第4表）

(4) 市町村別人口

市町村別の人口増減を見ると、9市1村で増加、23市11町村で減少であった。最も増加数の多い市町村はつくば市（2,984人）であり、以下、守谷市（1,438人）、水戸市（951人）、つくばみらい市（883人）、牛久市（833人）の順となっている。

一方、最も減少数の多い市町村は日立市（△1,454人）であり、以下、筑西市（△1,031人）、石岡市（△717人）、常陸太田市（△715人）、稲敷市（△643人）の順となっている。

人口増減率を見ると、最も増加率の高い市町村は守谷市（2.35%）であり、以下、つくばみらい市（2.02%）、つくば市（1.40%）、東海村（1.24%）、牛久市（1.03%）の順となっている。

逆に最も減少率の高い市町村は河内町（△1.66%）であり、以下、美浦村（△1.64%）、大子町（△1.62%）、稲敷市（△1.37%）、城里町（△1.30%）の順となっている。（表-1）

表-1 市町村別人口増減数と人口増減率順位(平成22年)

人口増減数

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減数	市町村名	人口増減数
1	つくば市	2,984	日立市	△ 1,454
2	守谷市	1,438	筑西市	△ 1,031
3	水戸市	951	石岡市	△ 717
4	つくばみらい市	883	常陸太田市	△ 715
5	牛久市	833	稲敷市	△ 643
6	鹿嶋市	473	常陸大宮市	△ 581
7	東海村	460	鉾田市	△ 519
8	神栖市	425	常総市	△ 514
9	ひたちなか市	266	桜川市	△ 480
10	龍ヶ崎市	64	笠間市	△ 468

人口増減率

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減率(%)	市町村名	人口増減率(%)
1	守谷市	2.35	河内町	△ 1.66
2	つくばみらい市	2.02	美浦村	△ 1.64
3	つくば市	1.40	大子町	△ 1.62
4	東海村	1.24	稲敷市	△ 1.37
5	牛久市	1.03	城里町	△ 1.30
6	鹿嶋市	0.72	常陸大宮市	△ 1.27
7	神栖市	0.45	常陸太田市	△ 1.26
8	水戸市	0.36	行方市	△ 1.21
9	ひたちなか市	0.17	境町	△ 1.21
10	龍ヶ崎市	0.08	大洗町	△ 1.17

また、市町村の人口規模を見ると、平成23年1月1日現在で20万人以上が2市（水戸市、つくば市）10万人以上20万人未満が6市（日立市、土浦市、古河市、取手市、ひたちなか市、筑西市）である。以上8市の合計は1,338,492人であり、県人口の約45%を占めている。郡部では3万人以上5万人未満の町村が3町村、2万人以上3万人未満の町村が4町、1万人以上2万人未満の町村が4町村、0.5万以上1万未満が1町となっている。（表-2）

表-2 人口規模別市町村数の推移(昭和64年～平成23年)

各年1月1日現在 人口（人）	昭和	平成																					
	64 (年)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
総 数	88	88	88	88	87	87	86	85	85	85	85	85	85	84	83	83	75	50	44	44	44	44	44
市 計	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	20	21	22	22	23	30	32	32	32	32	32
20万以上	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
10万以上20万未満	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	6	6	6	6	6	6
7.5万以上10万未満	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5	5	5
5万以上7.5万未満	6	6	7	7	7	7	6	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	9	9	9	9	9
3万以上5万未満	8	8	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	10	10	10	10	10
3万未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-
郡 計	68	68	68	68	67	67	67	65	65	65	65	65	65	63	61	61	52	20	12	12	12	12	12
5万以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
3万以上5万未満	12	12	12	12	13	13	13	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	4	3	3	3	3	3
2万以上3万未満	16	16	16	16	15	15	15	16	15	15	15	15	14	12	11	11	10	6	4	4	4	4	4
1万以上2万未満	23	23	23	24	23	24	20	22	23	23	23	23	24	25	25	25	22	7	4	4	4	4	4
0.5万以上1万未満	15	15	14	13	12	11	14	10	10	10	10	10	10	9	9	9	8	3	1	1	1	1	1
0.5万未満	2	2	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	-	-	-	-	-	-

2 自然動態

(1) 自然増減

平成22年中の自然動態は、出生24,396人、死亡28,721人で4,325人の減少となった。自然増減率は△0.15%となっている。

5地域別の自然増減率を見ると、県南地域が0.03%と最も高く、以下、県央地域△0.17%、鹿行地域△0.19%、県北地域△0.26%、県西地域△0.28%の順となっている。

市町村別の自然増減率については、守谷市が0.61%と最も高く、以下、東海村(0.42%)、つくば市(0.39%)、牛久市(0.31%)、神栖市(0.21%)の順となっている。(統計表第6表及び表-3)

(2) 出生

平成22年中の出生者数は24,396人(男12,520人、女11,876人)、出生率は8.2‰であった。

5地域別の出生率を見ると、県南地域が8.7‰と最も高く、以下、鹿行地域(8.5‰)、県央地域(8.2‰)、県西地域(7.8‰)、県北地域(7.7‰)の順となっている。

市町村別の出生率を見ると、東海村が12.2‰と最も高く、以下、守谷市(11.4‰)、つくば市(10.7‰)、神栖市(10.3‰)、つくばみらい市(10.1‰)の順となっている。(表-3)

(3) 死亡

平成22年中の死亡者数は28,721人(男15,317人、女13,404人)、死亡率は9.7‰であった。

5地域別の死亡率を見ると、県西地域が10.7‰と最も高く、以下、鹿行地域(10.5‰)、県北地域(10.2‰)、県央地域(10.0‰)、県南地域(8.4‰)の順となっている。

市町村別の死亡率を見ると、大子町が17.2‰と最も高く、以下、行方市(14.4‰)、大洗町(13.9‰)、常陸大宮市(13.7‰)、鉾田市(13.2‰)の順となっている。(表-3)

表-3 自然増減、出生率及び死亡率順位(平成22年)

(自然増減率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増減率(%)	市町村名	自然増減率(%)
1	守谷市	0.61	大子町	△1.24
2	東海村	0.42	城里町	△0.86
3	つくば市	0.39	行方市	△0.86
4	牛久市	0.31	大洗町	△0.83
5	神栖市	0.21	常陸太田市	△0.82

(出生率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	出生率(‰)	市町村名	出生率(‰)
1	東海村	12.2	常陸太田市	4.4
2	守谷市	11.4	城里町	4.5
3	つくば市	10.7	大子町	4.8
4	神栖市	10.3	五霞町	5.0
5	つくばみらい市	10.1	利根町	5.3

(死亡率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	死亡率(‰)	市町村名	死亡率(‰)
1	大子町	17.2	守谷市	5.3
2	行方市	14.4	牛久市	6.5
3	大洗町	13.9	つくば市	6.8
4	常陸大宮市	13.7	龍ヶ崎市	7.8
5	鉾田市	13.2	東海村	8.0

3 社会動態

(1) 社会増減

平成 22 年中の社会動態は、転入者数 117,813 人、転出者数 118,029 人で 216 人の転出超過となった。社会増減率は $\Delta 0.01\%$ となっている。

市部及び郡部別に見ると、市部で 574 人の転入超過、郡部で 790 人の転出超過となった。5 地域別では、県北地域が 1,433 人の転出超過、県央地域が 178 人の転入超過、鹿行地域が 124 人の転入超過、県南地域が 3,272 人の転入超過、県西地域が 2,357 人の転出超過となった。

市町村別では、転入超過が 10 市 1 村、転出超過が 22 市 11 町村となっている。転入超過の割合が最も高い市町村はつくばみらい市（社会増減率 1.86%）であり、以下、守谷市（同 1.75%）、つくば市（同 1.01%）、東海村（同 0.83%）、牛久市（同 0.72%）の順となっている。

逆に転出超過の割合が最も高い市町村は美浦村（社会増減率 $\Delta 1.52\%$ ）であり、以下、境町（同 $\Delta 1.03\%$ ）、河内町（同 $\Delta 0.94\%$ ）、稲敷市（同 $\Delta 0.68\%$ ）、の順となっている。（統計表第 8 表及び表 - 4）

(2) 移動数

平成 22 年中の移動数は 235,842 人、移動率は 7.95%であった。

また、県内市町村間の移動状況を見ると、転入者数 50,467 人、転出者数 50,569 人であった。

一方、県外間の移動状況を見ると、転入者数 65,088 人、転出者数 65,434 人であった。

市町村別の移動率を見ると、つくば市が 13.38%と最も高く、以下、守谷市 (10.62%)、牛久市 (10.25%)、つくばみらい市 (10.22%)、土浦市 (10.09%) の順となっている。(統計表第 8 表及び表 - 4)

表-4 社会増減率及び移動率順位(平成22年)

社会増減率				移動率					
順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増減率(%)	市町村名	社会増減率(%)		市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	つくばみらい市	1.86	美浦村	△ 1.52	1	つくば市	13.38	桜川市	4.22
2	守谷市	1.75	境町	△ 1.03	2	守谷市	10.62	大子町	4.34
3	つくば市	1.01	河内町	△ 0.94	3	牛久市	10.25	常陸太田市	4.53
4	東海村	0.83	稲敷市	△ 0.68	4	つくばみらい市	10.22	城里町	4.60
5	牛久市	0.72	潮来市	△ 0.61	5	土浦市	10.09	常陸大宮市	4.86

(3) 地域間移動

平成 22 年中の地域間移動数について、県内は 5 地域間、県外は近隣都県別で見ると、県内・県外いずれにおいても県南地域の移動数が最も多くなっている。

県内間移動を見ると、県南地域では他の4地域に対してすべて転入超過であった。
 県外間移動を見ると、近隣都県への転出超過数は東京都が1,268人で最も多く、以下、群馬県(208人)、栃木県(188人)、埼玉県(33人)の順となっている。5地域別に見ると、鹿行地域、県南地域が転入超過であり、他の地域は転出超過であった。(表-5)

表-5 県内及び県外(近隣都県)別地域間移動数及び超過数(平成22年)

地 域	茨城県		県北地域		県央地域		鹿行地域		県南地域		県西地域			
	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)		
全体	転入計	115,555	100.0	18,689	100.0	18,173	100.0	10,689	100.0	50,349	100.0	17,655	100.0	
	転出計	116,003	100.0	20,257	100.0	17,783	100.0	10,556	100.0	47,306	100.0	20,101	100.0	
	超過数	△ 448	-	△ 1,568	-	390	-	133	-	3,043	-	△ 2,446	-	
県内	転入者数	県内計	50,467	43.7	9,935	53.2	9,741	53.6	3,598	33.7	20,271	40.3	6,922	39.2
		県北地域	11,162	9.7	5,932	31.7	3,445	19.0	314	2.9	1,183	2.3	288	1.6
		県央地域	9,118	7.9	2,576	13.8	2,958	16.3	602	5.6	2,429	4.8	553	3.1
		鹿行地域	3,749	3.2	270	1.4	733	4.0	1,938	18.1	675	1.3	133	0.8
		県南地域	18,914	16.4	886	4.7	1,968	10.8	609	5.7	13,650	27.1	1,801	10.2
		県西地域	7,524	6.5	271	1.5	637	3.5	135	1.3	2,334	4.6	4,147	23.5
	転出者数	県内計	50,569	43.6	11,211	55.3	9,010	50.7	3,756	35.6	19,069	40.3	7,523	37.4
		県北地域	9,912	8.5	5,956	29.4	2,518	14.2	277	2.6	889	1.9	272	1.4
		県央地域	9,777	8.4	3,477	17.2	2,945	16.6	736	7.0	1,990	4.2	629	3.1
		鹿行地域	3,587	3.1	311	1.5	603	3.4	1,938	18.4	608	1.3	127	0.6
		県南地域	20,331	17.5	1,174	5.8	2,399	13.5	674	6.4	13,746	29.1	2,338	11.6
		県西地域	6,962	6.0	293	1.4	545	3.1	131	1.2	1,836	3.9	4,157	20.7
	超過数	県内計	△ 102	*	△ 1,276	*	731	*	△ 158	*	1,202	*	△ 601	*
		県北地域	1,250	*	△ 24	*	927	*	37	*	294	*	16	*
		県央地域	△ 659	*	△ 901	*	13	*	△ 134	*	439	*	△ 76	*
		鹿行地域	162	*	△ 41	*	130	*	0	*	67	*	6	*
		県南地域	△ 1,417	*	△ 288	*	△ 431	*	△ 65	*	△ 96	*	△ 537	*
		県西地域	562	*	△ 22	*	92	*	4	*	498	*	△ 10	*
県外	転入者数	県外総数	65,088	56.3	8,754	46.8	8,432	46.4	7,091	66.3	30,078	59.7	10,733	60.8
		栃木県	3,748	3.2	545	2.9	495	2.7	108	1.0	832	1.7	1,768	10.0
		群馬県	1,064	0.9	155	0.8	183	1.0	71	0.7	401	0.8	254	1.4
		埼玉県	5,997	5.2	669	3.6	797	4.4	433	4.1	2,414	4.8	1,684	9.5
		千葉県	9,239	8.0	817	4.4	914	5.0	1,678	15.7	4,903	9.7	927	5.3
		東京都	11,033	9.5	1,514	8.1	1,714	9.4	956	8.9	5,613	11.1	1,236	7.0
		神奈川県	5,060	4.4	777	4.2	689	3.8	580	5.4	2,512	5.0	502	2.8
		その他の道府県	28,947	25.1	4,277	22.9	3,640	20.0	3,265	30.5	13,403	26.6	4,362	24.7
	転出者数	県外総数	65,434	56.4	9,046	44.7	8,773	49.3	6,800	64.4	28,237	59.7	12,578	62.6
		栃木県	3,936	3.4	361	1.8	487	2.7	153	1.4	831	1.8	2,104	10.5
		群馬県	1,272	1.1	180	0.9	204	1.1	59	0.6	488	1.0	341	1.7
		埼玉県	6,030	5.2	738	3.6	838	4.7	365	3.5	2,222	4.7	1,867	9.3
		千葉県	9,233	8.0	932	4.6	1,099	6.2	1,462	13.8	4,800	10.1	940	4.7
		東京都	12,301	10.6	1,986	9.8	1,898	10.7	986	9.3	5,813	12.3	1,618	8.0
		神奈川県	4,924	4.2	914	4.5	780	4.4	437	4.1	2,157	4.6	636	3.2
		その他の道府県	27,738	23.9	3,935	19.4	3,467	19.5	3,338	31.6	11,926	25.2	5,072	25.2
	超過数	県外総数	△ 346	*	△ 292	*	△ 341	*	291	*	1,841	*	△ 1,845	*
		栃木県	△ 188	*	184	*	8	*	△ 45	*	1	*	△ 336	*
群馬県		△ 208	*	△ 25	*	△ 21	*	12	*	△ 87	*	△ 87	*	
埼玉県		△ 33	*	△ 69	*	△ 41	*	68	*	192	*	△ 183	*	
千葉県		6	*	△ 115	*	△ 185	*	216	*	103	*	△ 13	*	
東京都		△ 1,268	*	△ 472	*	△ 184	*	△ 30	*	△ 200	*	△ 382	*	
神奈川県		136	*	△ 137	*	△ 91	*	143	*	355	*	△ 134	*	
その他の道府県		1,209	*	342	*	173	*	△ 73	*	1,477	*	△ 710	*	

注1) 転入は表側から表頭への、また転出は表頭から表側への移動者数である。
 2) 県内の転入者数及び転出者数は、各市町村ごとの転入者数及び転出者数を積み上げ、それを5地域別及び県全体で表したものである。
 3) 超過数とは、以下の内容を意味するものである。
 ・表頭から表側に対しては、正の数は転入超過を表し、負の数は転出超過を表すものである。
 ・表側から表頭に対しては、正の数は転出超過を表し、負の数は転入超過を表すものである。
 4) その他の県には国外を含む。
 5) その他の移動者(従前の住所地なし、転出先不明等)数は含まない。

(4) 年齢別社会動態

平成22年中の県内における年齢別転入及び転出者数を5歳階級別に見ると、20歳～24歳(1,184人)及び25歳～29歳(632人)において転出超過が多くなっている。転出超過数を各歳別に見ると、23歳が857人の転出超過(転入4,948人、転出5,805人)と最も多く、次いで24歳が467人(転入4,121人、転出4,588人)、25歳が308人(転入4,662人、転出4,970人)となっている。(統計表第13表及び図-5)

地域別の社会増減数を5歳階級別に見ると、県北地域、県央地域、県南地域では20歳～24歳、県西地域では25歳～29歳、鹿行地域では30歳～34歳の転出超過が多くなっている。(図-6)

図5 年齢(5歳階級)別転入及び転出者数

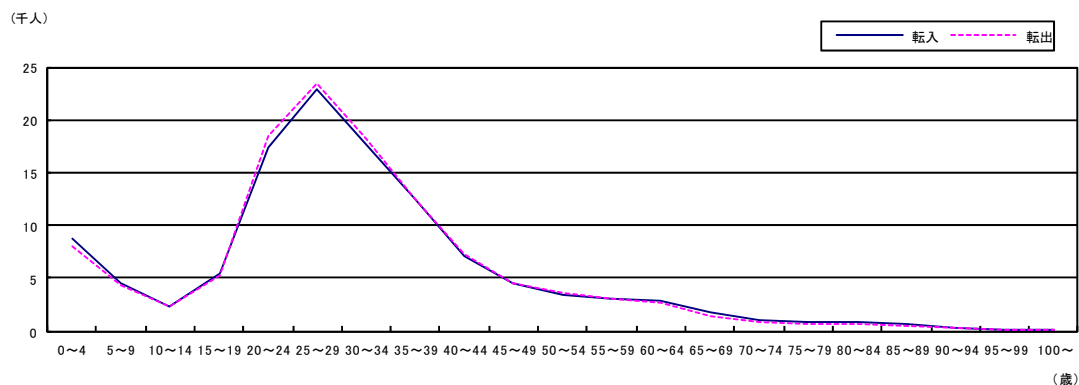
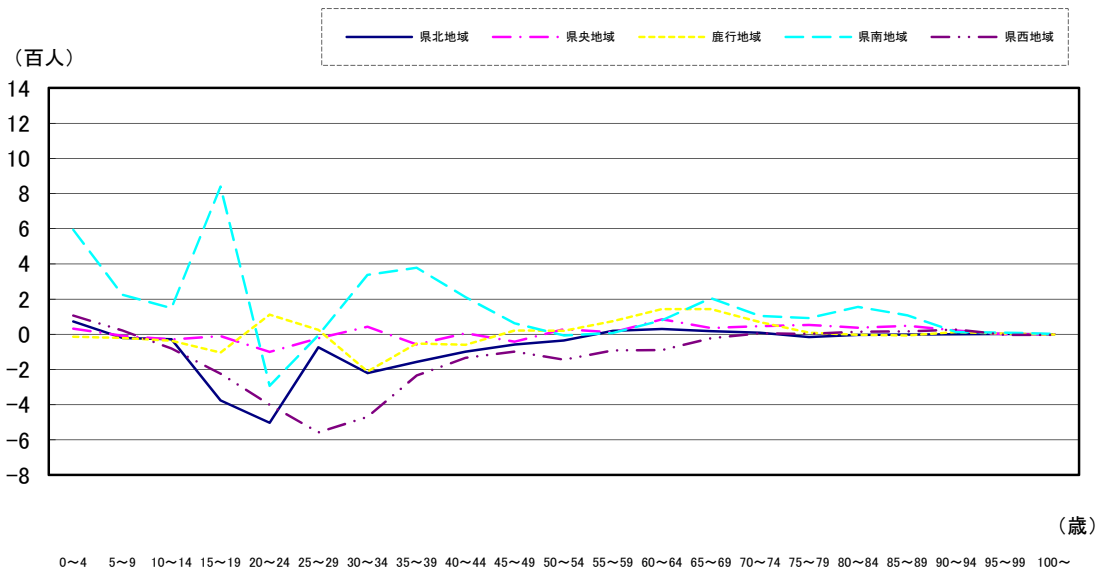


図6 地域及び年齢(5歳階級)別社会増減数(平成22年)



4 世帯数, 1世帯あたり人員

平成23年1月1日現在の世帯数は1,090,187世帯であり、平成22年中に11,472世帯増加し、増減率は1.05%となっている。(統計表第4表及び図-7)

1世帯当たり人員については、平成22年10月1日現在2.68人となっている。(統計表第1表)

図7 人口増減率及び世帯数増減率の推移

